

資料 2

第3次広島県肝炎対策計画の取組の方向性について

平成28年9月5日
広島県健康福祉局薬務課

1. 第2次広島県肝炎対策計画の取組

【目指す姿】

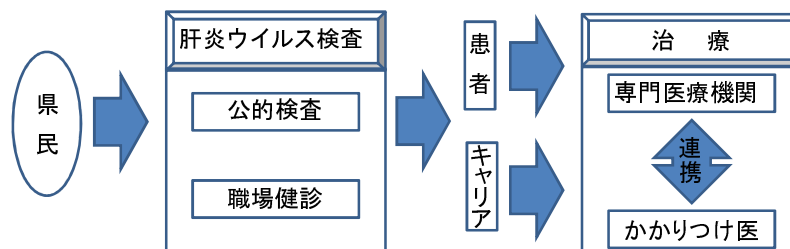
肝炎ウイルス検査が陽性であった県民全てが医療機関を受診する。

【全体目標】

「肝がん」になる前に早期発見・早期治療

【施策の方向性】

1. 肝炎に関する正しい知識の普及啓発
2. 肝炎ウイルス検査の受検促進
3. 病態に応じた適切な肝炎医療の提供



2-1. 肝炎に関する正しい知識の普及啓発

目 標

- 県民が肝炎及び感染予防に関する正しい知識を持つ。
- 肝炎患者等が社会において安心して暮らせる環境をつくる。
- 肝炎等についていつでも相談できる窓口を整備する。

取 組

- ひろしま肝疾患コーディネーターの養成(H23～)
- 肝臓週間・日本肝炎デーに併せた普及啓発(7/28)
- 肝疾患相談室の設置(H19～: 広島大学病院, H21～: 福山市民病院)

成 果

- ひろしま肝疾患コーディネーターの養成数

H23	H24	H25	H26	H27	計
105	161	132	216	193	807

- 肝疾患相談室の相談件数

H24	H25	H26	H27	計
3,067	2,551	2,901	3,143	11,662

2-2. 肝炎ウイルス検査の受検促進

目 標

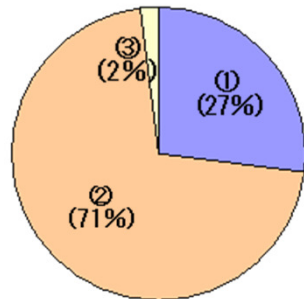
- 全ての県民が1回は肝炎ウイルス検査を受検できる体制を整備する。
- 肝炎ウイルス検査実施体制整備済みの職域を50%以上とする。

取 組

- 職域における肝炎ウイルス検査体制の整備
- 産業医研修(H25: 86名, H26: 40名)
- 協会けんぽ加入企業に対する啓発資料の配布
(生活習慣病予防検診実施機関会議での普及啓発)
- 企業に対する講習会(H27: 1回)
- 健康増進事業による肝炎ウイルス検査
- 特定感染症検査等事業

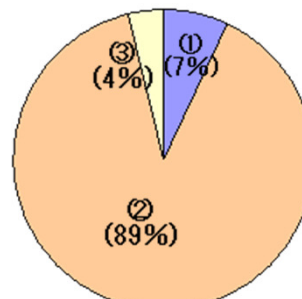
(H18～: 保健所で無料肝炎ウイルス検査を実施
H20～: 医療機関での無料肝炎ウイルス検査を実施)

肝炎ウイルス検査の受診状況等に関する調査



一般住民 (N=4,862)

①	受けたことがある	27%
②	受けたことがない	71%
③	受けたかどうかわからない	2%



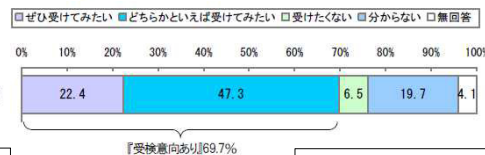
職域 (N=166)

①	受けたことがある	7%
②	受けたことがない	89%
③	受けたかどうかわからない	4%

出典：「厚生労働省 肝炎等克服緊急対策研究事業 肝炎ウイルス感染状況・長期経過と予後調査及び治療導入対策に関する研究班」報告

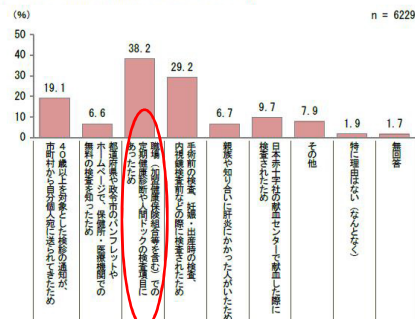
肝炎ウイルス検査未受検者の受検意向

今後の受検意向 問5 (2) 今後、機会があれば検査を受けてみたいと思いますか



肝炎ウイルス検査を受検した経緯

問4 (a) 受検したきっかけはどのような理由ですか



肝炎ウイルス検査を受けていない理由

問5 (1) 検査を受けていない理由はどのような理由からですか



厚生労働省「平成23年度肝炎検査受検状況実態把握事業成果報告書」

職域における肝炎対策実施状況調査

【目的】県内企業の肝炎対策実施状況の把握

【調査内容】

- ・肝炎ウイルスの啓発活動の実施
- ・肝炎ウイルス検査の実施状況
- ・肝炎治療の際の就業上の配慮

【調査方法】

郵送によるアンケート調査

【調査対象】

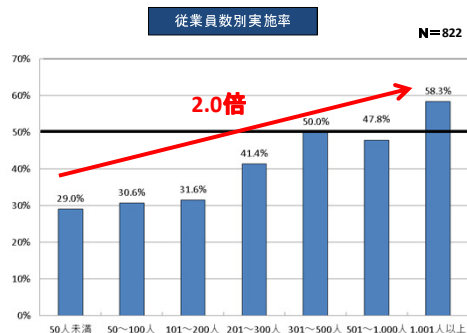
県内企業：2,291施設(H23), 2,196施設(H28) (広島会社手帳から)

回答数：892施設(H23 回収率：38.9%), 822施設(H28 回収率：37.4%)

職域における肝炎対策実施状況調査

区分	基準年 (H23)	目標 (H28)	実績 (H28)	達成度
実施率	33.6%	50%以上	32.0%	未達成

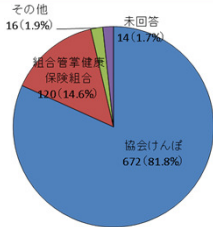
平成28年度職域における肝炎対策実施状況調査



○大規模な事業所については、目標達成しているが、小規模な事業所ほど、肝炎ウイルス検査の実施率は低い傾向があり、50人未満の企業は1,001人以上の企業と比較して、実施率に2.0倍の差があった。

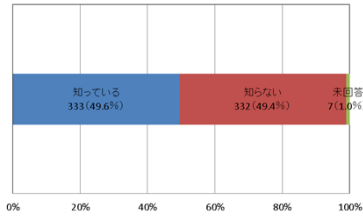
職域における肝炎対策実施状況調査

加入医療保険



N=822

協会けんぽが実施する肝炎ウイルス検査の認知度

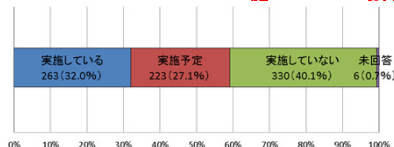


N=672

○アンケート実施企業の81.8%が全国健康保険協会(協会けんぽ)に加入しており、協会けんぽ加入者については、生活習慣病予防健診と同時に肝炎ウイルス検査を受検できるが、ほぼ半数の加入企業は知らない状況であった。

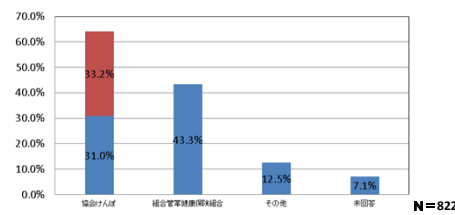
肝炎ウイルス検査実施済み及び実施予定企業

○アンケートで協会けんぽの検査を知って、「今後、検査を従業員に薦める。」と回答した企業を「実施予定」とした場合



N=822

加入保険別実施率及び実施予定率



N=822

○協会けんぽの肝炎ウイルス検査の周知により、肝炎ウイルス検査を実施している企業及び実施予定の企業は、59.1%であった。

公的検査合計(特定感染症検査等事業+住民健診)

	H14~ H23	H24	H25	H26	H27	累計
B型肝炎健診受 検者数	116,036 (842)	27,162 (303)	36,477 (322)	35,196 (328)	32,306 (280)	247,174 (2,075)
C型肝炎健診受 検者数	234,424 (2,084)	28,571 (173)	35,782 (198)	36,008 (136)	32,951 (120)	367,736 (2,711)

* ()内は陽性者数。

特定感染症検査等事業

	H18~ H23	H24	H25	H26	H27	累計
B型肝炎健診受 検者数	71,932 (242)	11,793 (91)	23,292 (163)	20,028 (144)	17,849 (116)	144,894 (756)
C型肝炎健診受 検者数	84,201 (210)	13,217 (68)	24,022 (98)	20,925 (88)	18,675 (61)	161,040 (525)

*検査件数は、保健所設置市の検査数も含む県全体。
*B型・C型両方の健診を受検している者は、両方に計上。

住民健診(老人保健事業, 健康増進事業)

	H14~ H23	H24	H25	H26	H27	累計
B型肝炎健診受 検者数	44,104 (600)	15,369 (212)	13,185 (159)	15,165 (184)	14,457 (164)	102,280 (1,319)
C型肝炎健診受 検者数	150,223 (1,874)	15,354 (105)	11,760 (100)	15,083 (48)	14,276 (59)	206,696 (2,186)

*広島市は平成25年度から特定感染症検査等事業のみで肝炎ウイルス検査を実施。
*B型・C型両方の健診を受検している者は、両方に計上。

2-3. 病態に応じた適切な肝炎医療の提供

目標

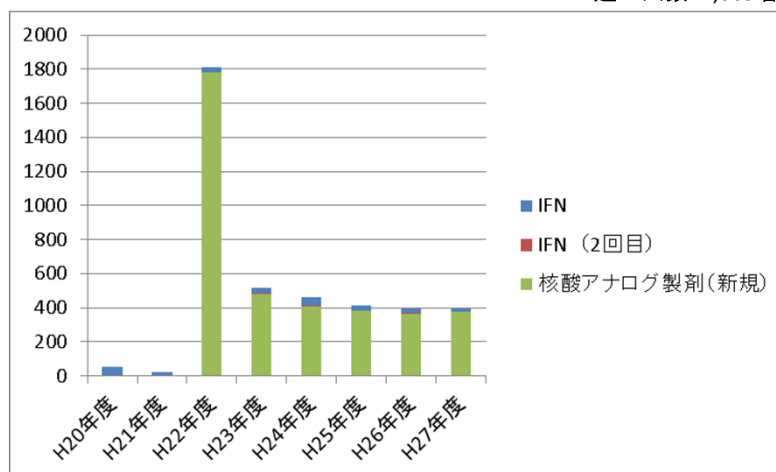
- 肝炎ウイルス検査後の受診勧奨・受診確認等のフォローアップ体制を整備する。
- 肝炎ウイルス検査で発見されたHBVキャリアの受診率を65%以上とする。
- 肝炎ウイルス検査で発見されたHCVキャリアの受診率を75%以上とする。

取組

- 患者に対する肝炎治療医療費助成(H20～)
- 広島肝疾患患者フォローアップシステムを活用した継続的受診勧奨(H25～)
(H28.3月末現在:1,549名)
- 全国健康保険協会広島支部と連携し、陽性者に対する受診勧奨
(H26:1,500部)
- 初回精密検査及び定期検査費用の助成(H26～)
- 肝炎患者支援手帳の作成
(H24:4,000部, H25:1,500部, H26:1,500部)

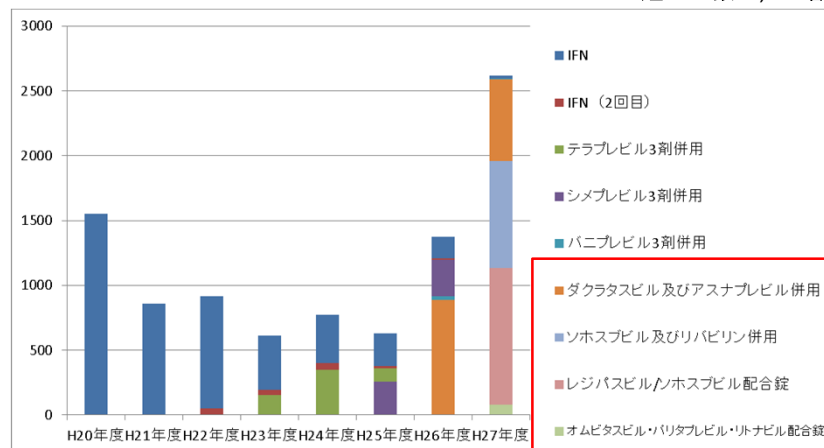
肝炎治療受給者証発行状況 (B型肝炎)

延べ人数:4,069名



肝炎治療受給者証発行状況 (C型肝炎)

延べ人数:9,326名



インターフェロンフリー治療

○著効率が90%以上のインターフェロンフリー治療が急速に進展しており、治療する者が増加した。

肝炎ウイルス検査で陽性と 判定された方の受診率

区分	基準年 (H21)	目標 (H28)	実績 (H27)	達成度
B型肝炎キャリア	48.0%	65%以上	64.5%	達成する見込み
C型肝炎キャリア	65.0%	75%以上	73.8%	達成する見込み

○広島県肝疾患患者フォローアップシステム並びに初回精密検査及び定期検査費用助成により、着実に受診率は伸びており、目標は達成する見込みである。

【新たな課題】

●C型肝炎については、インターフェロンフリー治療は著効率が90%以上であるが、ウイルスが排除されると、経過観察のために必要な継続受診を中断する者が多くなるため、その後も広島県肝疾患患者フォローアップシステム及び定期検査費用助成により医療機関に結びつける必要がある。

3. 取組の振り返り

【課題1 肝炎ウイルス検査の受検率】

○特定感染症検査等事業における肝炎ウイルス検査の受検者数が伸び悩んでおり、「一度は無料で受検できる」ことが県民に認知されていない。

○協会けんぽ加入企業に対しては、協会けんぽが実施している肝炎ウイルス検査について周知はしているが、企業の健康管理部門での認知度の確認まではできていなかった。

○組合管掌健康保険組合企業の肝炎ウイルス検査実施率は43.3%と、目標を達成していない。

3. 取組の振り返り

【課題2 キャリアの未受診について】

肝炎ウイルスは、感染しても自覚症状に乏しいことから、感染を認識しても早急な治療の必要性を認識しにくく、受診した者が7割に留まっている。

【課題3 治療後の継続受診について】

C型肝炎については、インターフェロンフリー治療によりウイルスが排除されるようになったことから、治療後に必要な継続受診を中断する者が多い。

【課題4 新たな感染について】

成人期に感染しても慢性化しやすい、ジェノタイプAのB型肝炎ウイルスによる感染事例が増加している。

4. 課題解決に向けた仮説

【仮説1 新たな感染について】

県民が肝炎について正しい知識を持つこと及びB型肝炎ワクチンの推進によって、新たな感染を防止できるのではないか。

【仮説2 肝炎ウイルス検査の受検率について】

肝炎ウイルス検査の必要性についての啓発方法や内容等を見直すとともに、職域における肝炎ウイルス検査体制を整備し受検機会の拡大を図ることで肝炎ウイルス検査の受検促進することができるのではないか。

【仮説3 肝炎患者等の継続受診について】

継続受診の必要性の周知及び肝炎患者等の専門医療機関への受診を支援する体制を充実させることにより、適切な肝炎医療が提供できるのではないか。

5. 第3次広島県肝炎対策計画の取組の方向性

【目指す姿】

県民が肝炎について正しい知識を持ち、予防・検査・治療等の肝炎対策に主体的に取り組んでいる。

【全体目標】

肝がんの年齢調整死亡率の減少

【施策の方向性】

1. 予防:新たな感染の防止
2. 発見:肝炎ウイルス検査の受検促進
3. 相談・受療:病態に応じた適切な肝炎医療の提供